

2021年10月3日（日）

瀬戸内国際芸術祭2022へ向けて 福武ハウス 小豆島の間伐材を使ったウッドデッキの制作

福武ハウス（小豆島町福田地区、香川県）では、2022年開催予定の瀬戸内国際芸術祭2022に向けてゲストと地域の方が集えるイベントスペースを施設内に新設します。新たに作られるスペースでは島の間伐材を使用したウッドデッキを制作し、地域資源の活用をするとともに地域の方に親しみを持って利用いただける場所を目指します。

来る10月3日（日）には福田地区の地元子ども会の有志メンバーとともに、ウッドデッキに塗料をつける加工作業を行います。今後は地域住民だけでなく一般参加者も制作に参加できるようなイベントを検討しています。

報道各社様におかれましては、この機会にぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

開催概要

日時 2021/10/3(日)9:30～13:00（完成次第終了）

会場 福武ハウス [〒761-4402 香川県小豆郡小豆島町福田 甲718-1]

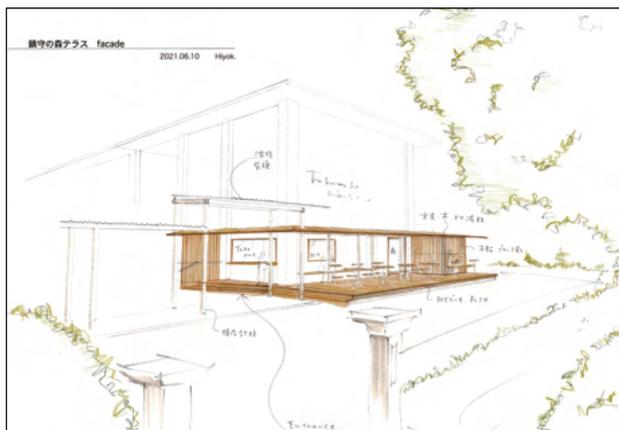
主催 公益財団法人 福武財団

このプロジェクトのポイント

- ① 島の間伐材を活用して、持続可能な社会へ貢献
- ② 地元に愛される場所を、皆で作りに上げる

制作の流れ

10月3日	ウッドデッキの塗装作業
10月中旬	ウッドデッキの固定作業
2022年1月以降	デッキ用の家具作り
2022年4月中旬	オープン予定(瀬戸内国際芸術祭2022 春会期中)



完成予想図



写真 イベントスペース制作作業の様子

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 太田・大山

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <https://benesse-artsite.jp/>

福武ハウスのこれまでの取り組み

世代を超えた人が集い、多様な価値が育まれるプラットフォームをつくる

旧小豆島町福田小学校を再生した「福武ハウス」では、地域のお年寄りにインタビューをして子どもたちがアーティストと影絵の制作を行ったり、食文化をリサーチしたお弁当の制作を行う等、地域の魅力を発信するために集落の文化を収集・保存し、地域の価値を新たに創り出す活動をしてきました。瀬戸内国際芸術祭2022ではアジアのアーティストも加わり、地域住民やゲストとの協働を通して、多様な価値が育まれるプラットフォームづくりを目指します。



川村亘平齋（影絵師・音楽家）と福田の親子とともに制作し 2021 年 4 月 24 日に上演した「福田うみやまこぼなし」の様子。



コミュニティの形を食で表現するお弁当プロジェクト。
昨年は、レモンと豚肉の炊き込みご飯で作った押し寿司と旬の野菜を使ったお惣菜のお弁当を開発。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 太田・大山
〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011
E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <https://benesse-artsite.jp/>